

令和7年度 アンケート調査（せきのまちづくり通信簿）調査結果

【結果報告書・概要版】

●調査の目的

「令和7年度アンケート調査（せきのまちづくり通信簿）」は、関市民のまちづくりへの意識等を把握し、政策への反映に生かすことを目的として実施しました。

●調査の概要

- ① 調査対象者 令和7年11月現在、関市に居住している満16歳以上の市民3,000人
- ② 抽出法 住民基本台帳から対象者を無作為に抽出
- ③ 調査期間 令和7年11月20日～令和7年12月8日
- ④ 調査方法 郵送法（郵送配布 - 郵送回収またはインターネット回答）
- ⑤ 回収結果 1,336票（回収率：44.5%）

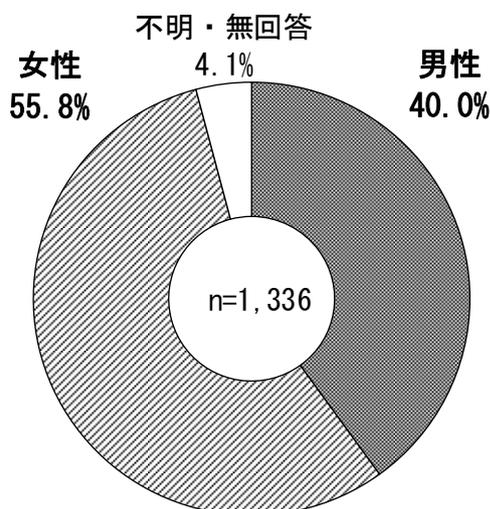
⑥ 報告書の見方

- ・グラフ中の「n」とは、number of cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。
- ・グラフ中の「%」は、小数第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。

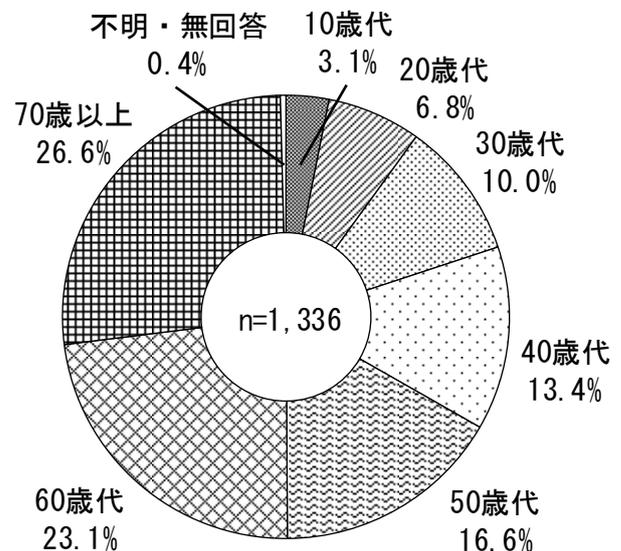
1 回答者の属性

回答者について、性別は女性が多く、年齢は「70歳以上」、次いで「60歳代」が多くなっています。

●回答者の性別



●回答者の年齢

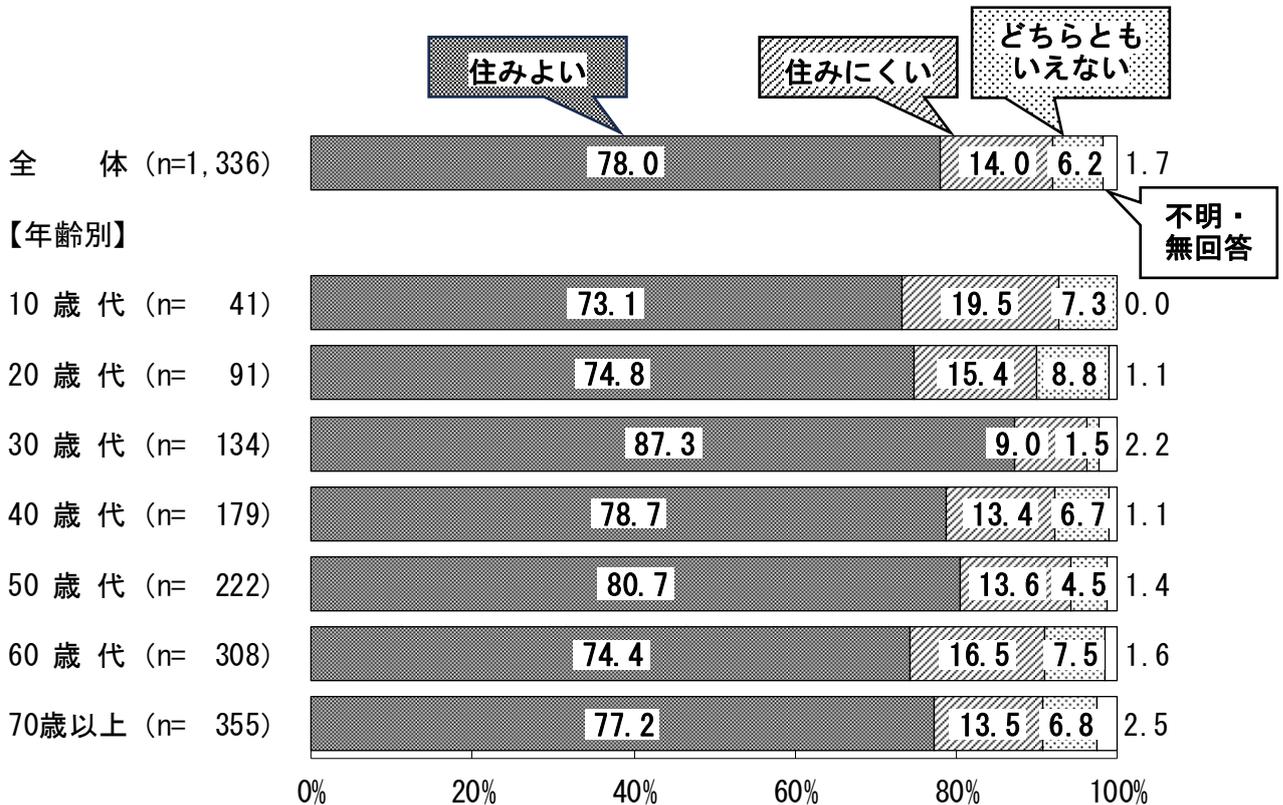


2

関市の住みよさについて

●「あなたは関市が住みよいまちだと感じますか」

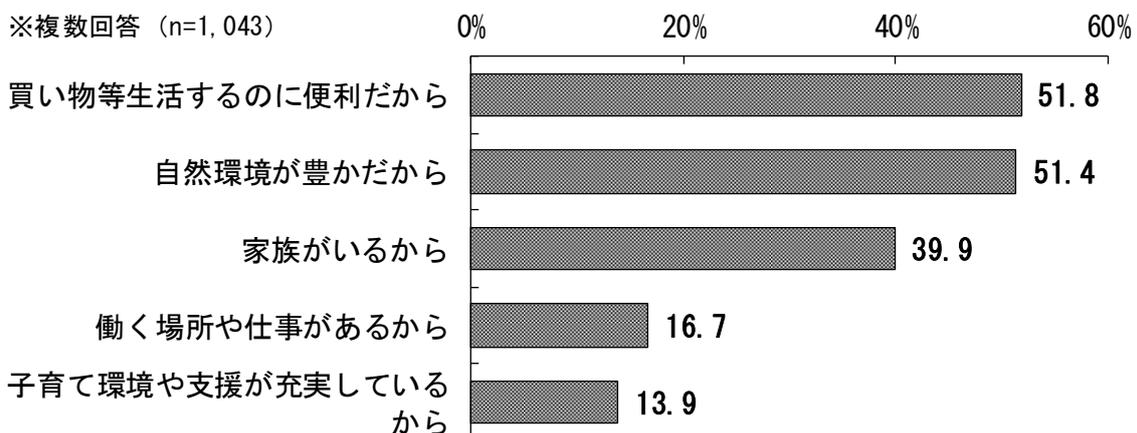
関市が住みよいまちと感じるかについて、全体の78.0%が関市を『住みよい』と感じています。年齢別にみると、30歳代で80%を大きく上回り、ほかの年代に比べて高くなっています。



※『住みよい』は、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合算、
『住みにくい』は、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合算。

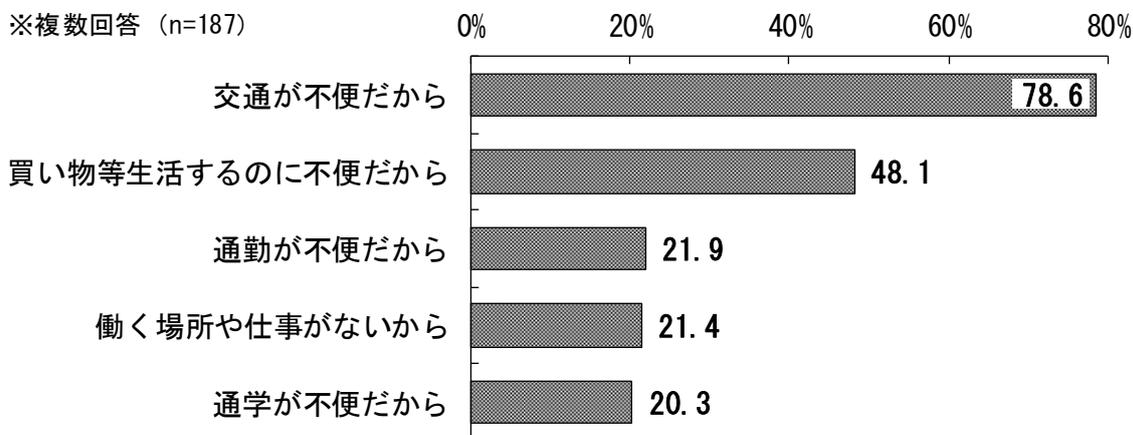
●「関市が住みよいと思う理由は何ですか」<上位5位> (※『住みよい』を選んだ方)

関市が『住みよい』と回答した方にその理由についてたずねたところ、51.8%の方が「買い物等生活するのに便利だから」と回答しています。次いで、「自然環境が豊かだから」、「家族がいるから」の回答が続いています。



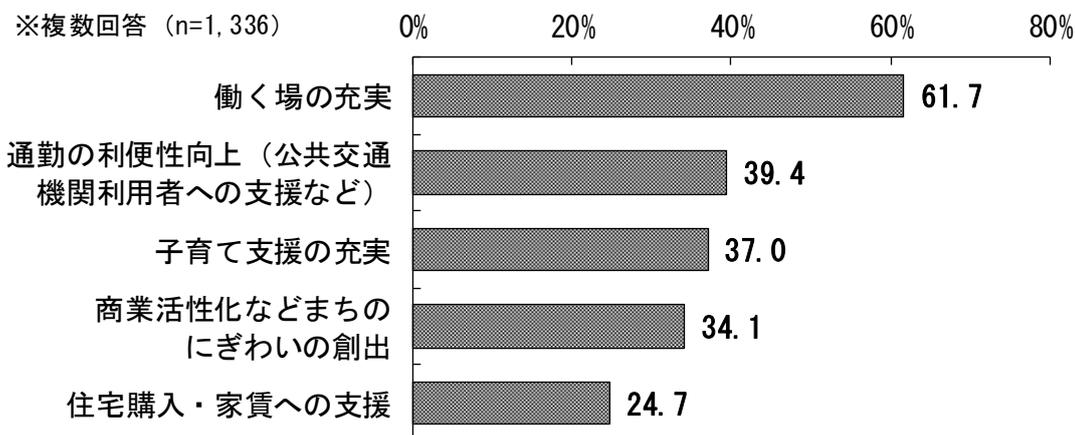
● 「関市が住みにくいと思う理由は何ですか」 <上位5位> (※『住みにくい』を選んだ方)

関市が『住みにくい』と回答した方にその理由についてたずねたところ、78.6%の方が「交通が不便だから」と回答しています。次いで、「買い物等生活するのに不便だから」、「通勤が不便だから」の回答が続いています。



● 「若年層が関市に住み続けられる、または関市に移り住んでもらうために重要なことは何だと思いますか」 <上位5位>

若年層が関市に住み続けられる、または関市に移り住んでもらうために重要だと思うことについて、「働く場の充実」が61.7%と最も高く、次いで「通勤の利便性向上」が39.4%、「子育て支援の充実」が37.0%となっています。



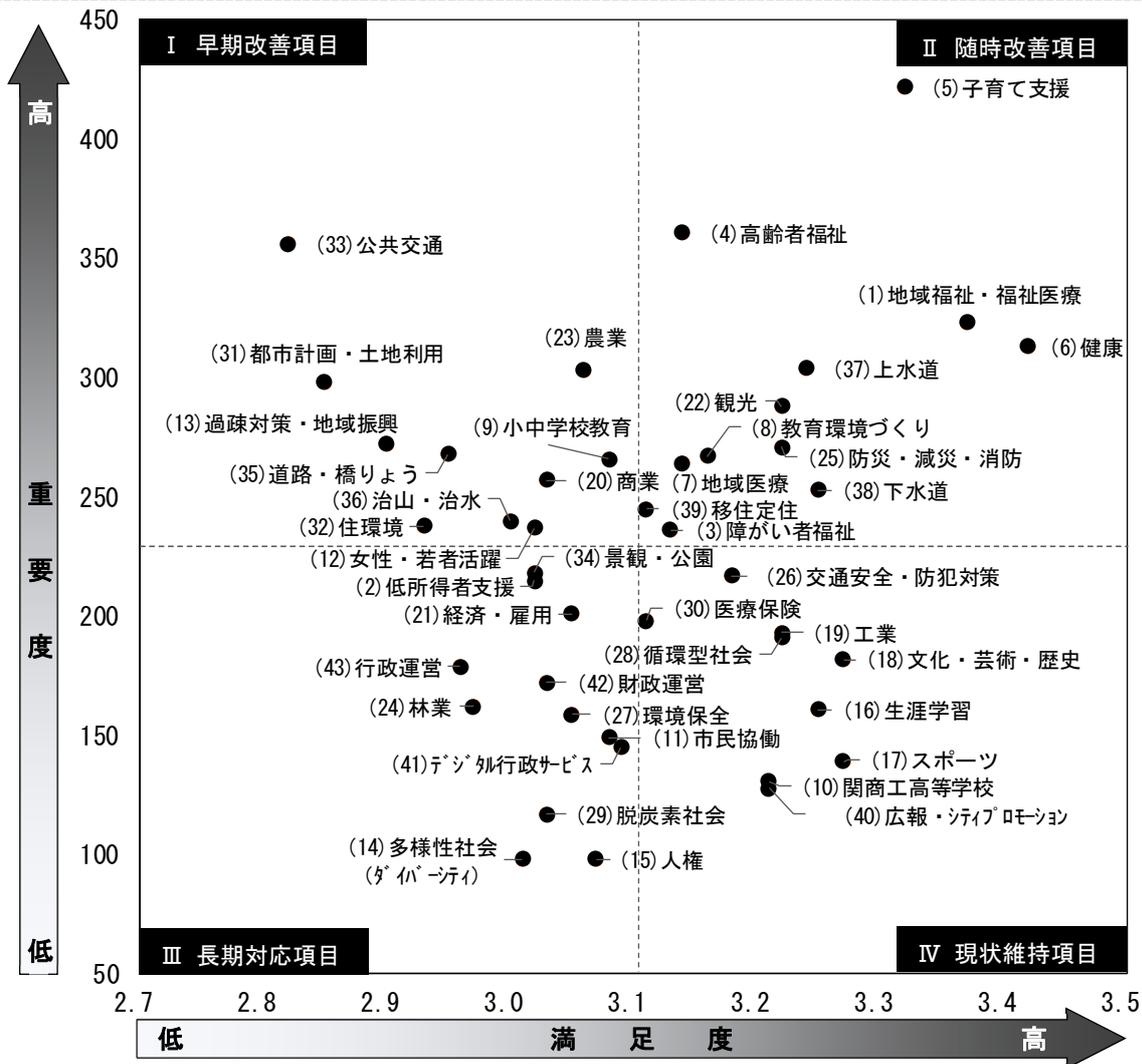
3

市の主な施策の「満足度・重要度」について

● 「施策の満足度・重要度のポートフォリオ分析」

施策の満足度、重要度を得点化し、算出された得点をもとに平均値を境界として、4つの領域に区分した満足度・重要度の分布図を作成、今後の施策の方向性について分析を行いました。

「<タイプⅠ>早期改善項目」に分類される施策には、「(33)公共交通」「(31)都市計画・土地利用」「(13)過疎対策・地域振興」などがあがっています。



【満足度・重要度の得点化】

満足度…「とても満足」(5点) × 回答数 + 「まあ満足」(4点) × 回答数 + 「普通・どちらともいえない」(3点) × 回答数 + 「やや不満」(2点) × 回答数 + 「不満」(1点) × 回答数 / 総回答数

重要度…「積極的に進めるべきだと思う施策」(1点) × 回答数

【重要度と満足度の関係】

<タイプⅠ>早期改善項目 (重要度は高いが、満足度は低い)

⇒現在の施策や事務事業を優先して改革・改善すべき施策の分野

<タイプⅡ>随時改善項目 (重要度が高く、満足度も高い)

⇒今後も継続して事業に取り組めるよう、事業費が過大となっていないか点検するとともに、さらなる事業の効率化を検討する施策の分野

<タイプⅢ>長期対応項目 (重要度が低く、満足度も低い)

⇒施策の重要性に対する認知を高めるとともに、取組の方向の改善を検討する施策の分野

<タイプⅣ>現状維持項目 (重要度は低く、満足が高い)

⇒今後も着実に事業の推進を図るとともに、施策の重要性についての認知を高める施策の分野

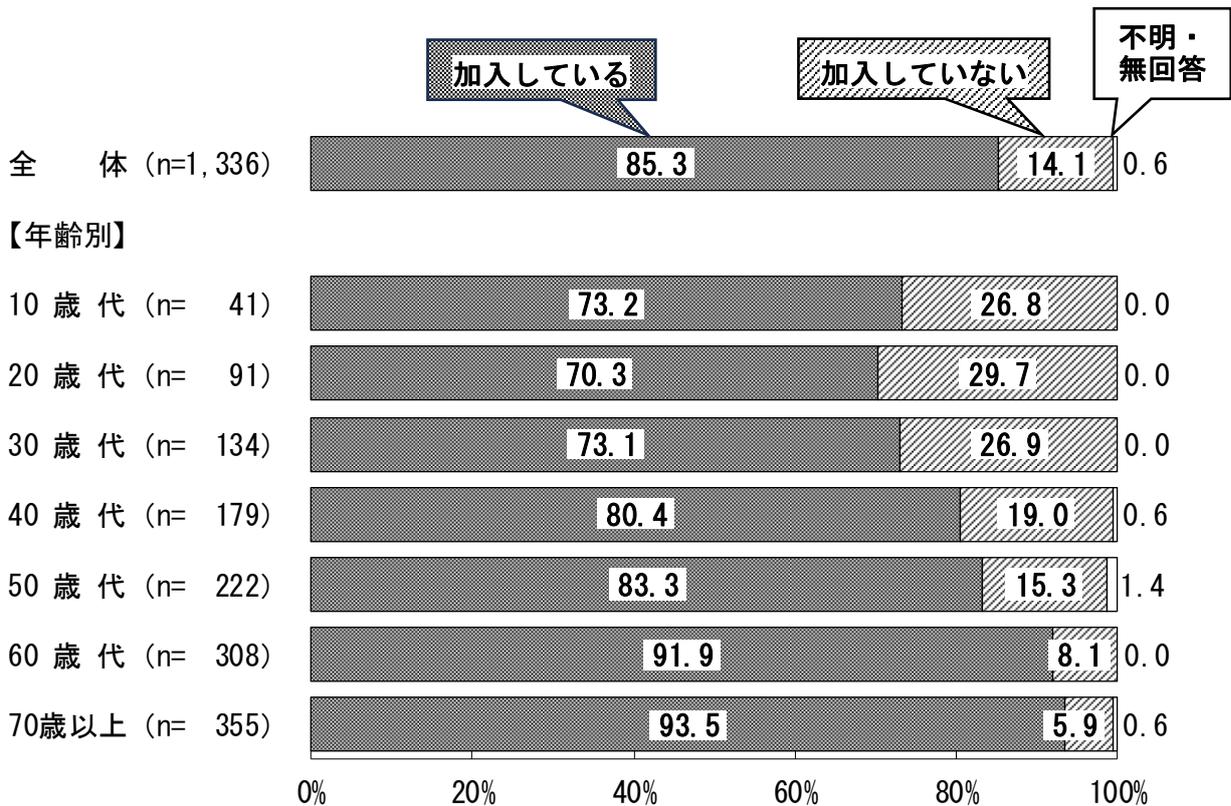
4

まちづくりへの意識と取組について

① 地域づくり・協働について

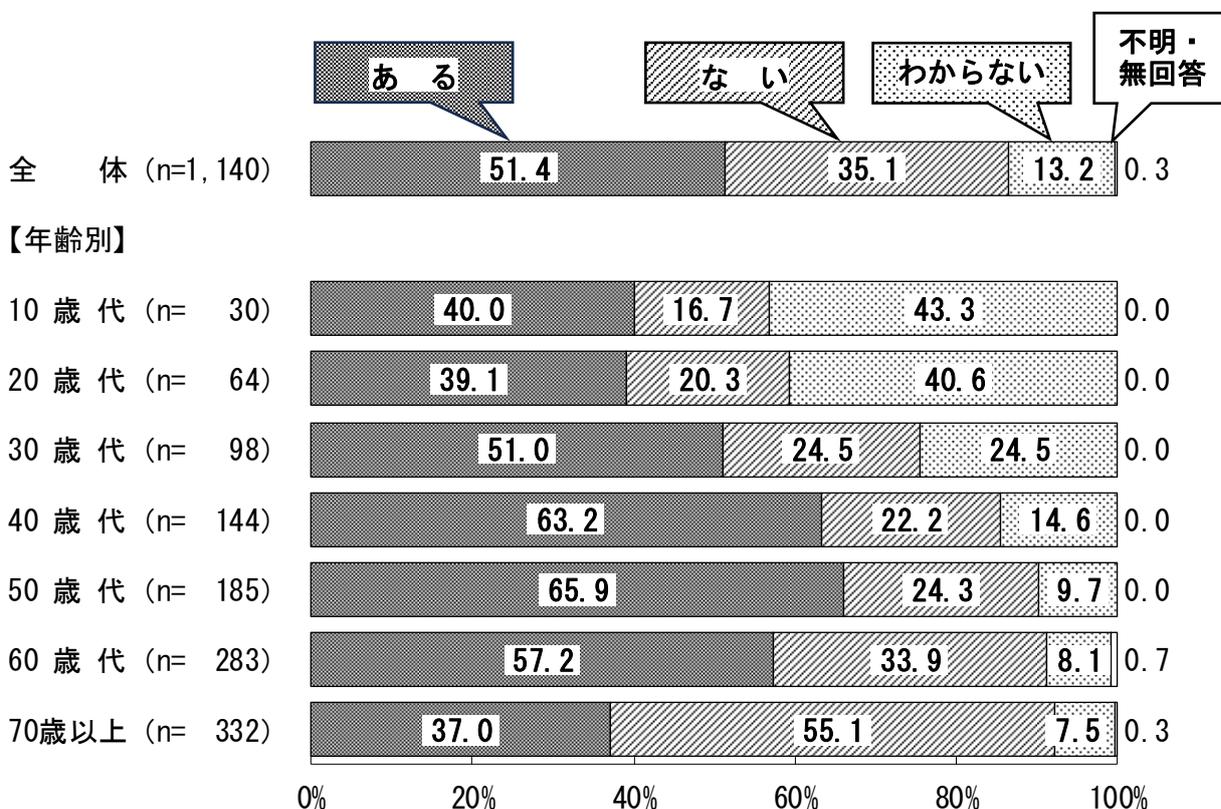
● 「あなたの世帯は、自治会に加入していますか」

自治会への加入状況については、「加入している」が85.3%、「加入していない」が14.1%となっています。年齢別にみると、「加入している」は、いずれの年代も70%を上回り高く、60歳代以上では90%以上を占めて非常に高くなっています。



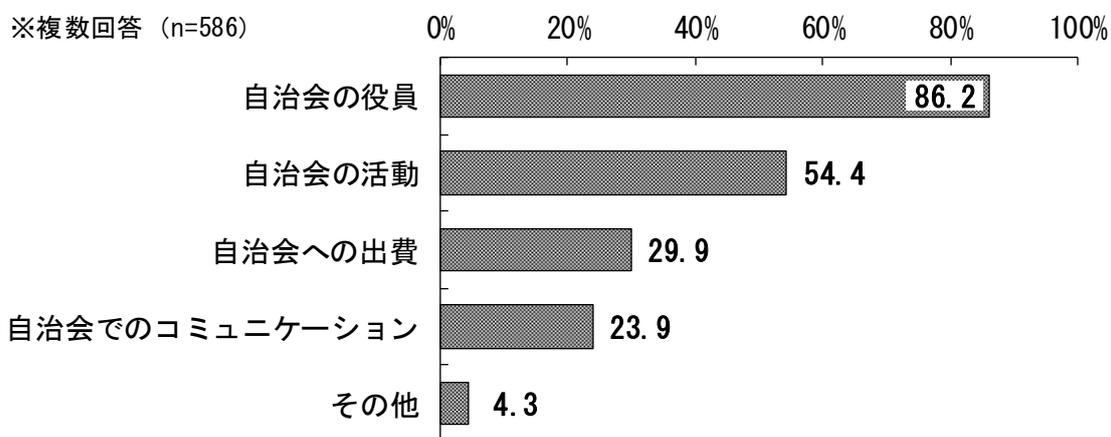
●「自治会に加入していることで負担だと感じることはありませんか」(※「加入している」を選んだ方)

自治会に加入していることで負担に感じるかどうかについては、「ある」が51.4%、「ない」が35.1%となっています。年齢別にみると、「ある」は、40歳代と50歳代で60%を上回っています。



●「自治会に加入していることで、特に負担に感じることは何ですか」(※『ある』を選んだ方)

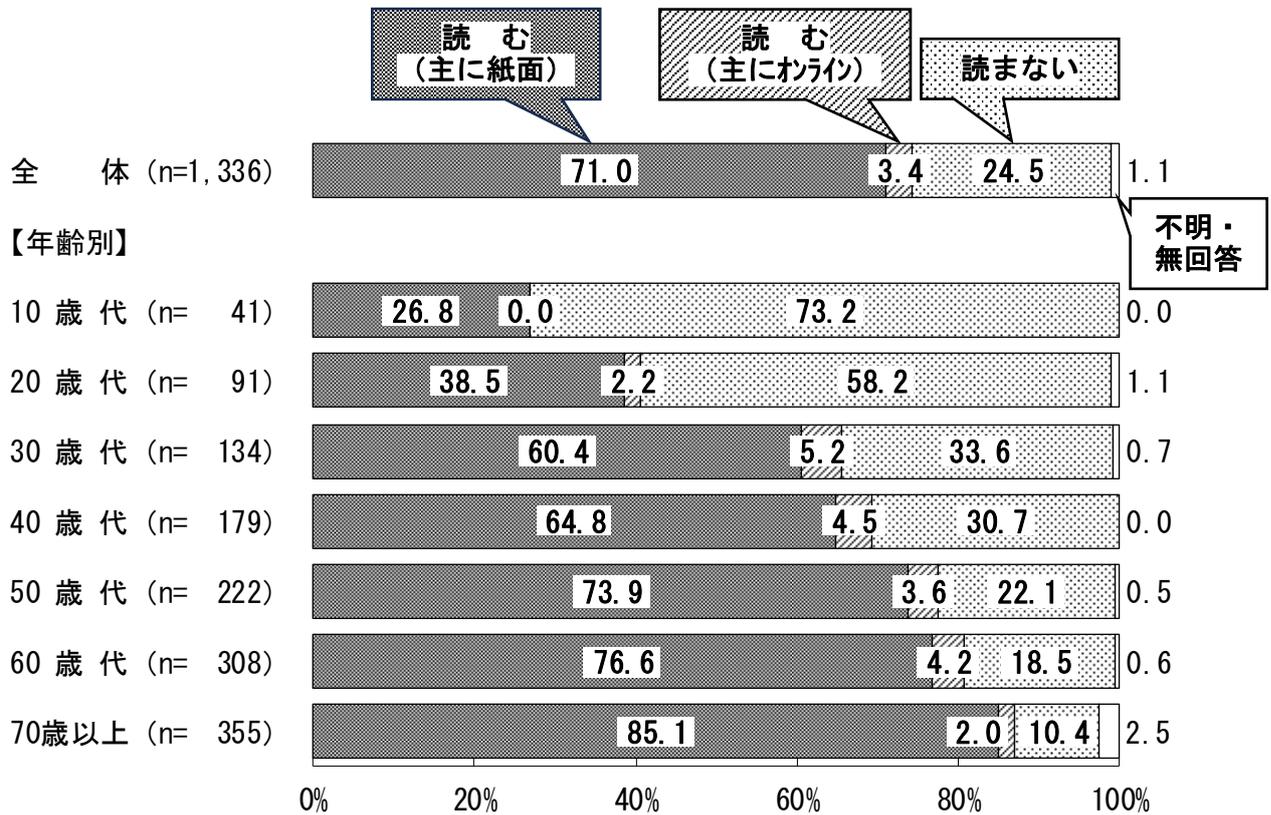
自治会に加入していることで負担に感じることについては、「自治会の役員」が86.2%と最も高く、次いで「自治会の活動」が54.4%となっています。



② 広報せきについて

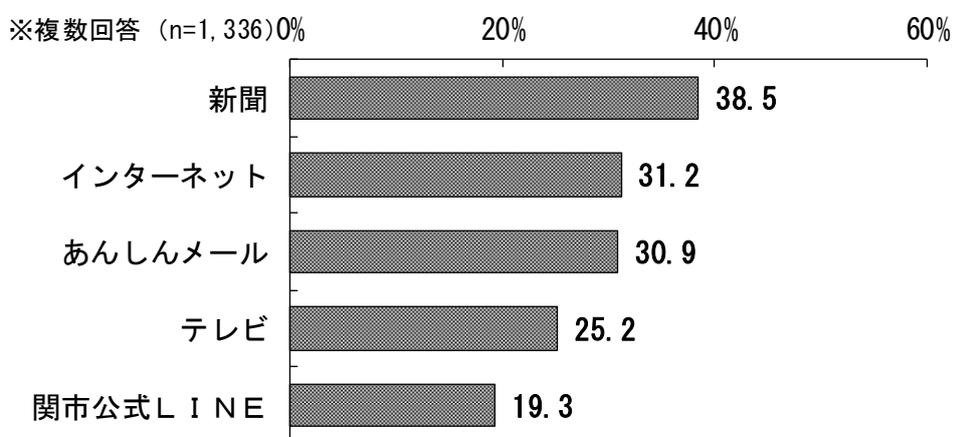
● 「あなたは、広報せき（紙面またはオンライン記事）を読みますか」

広報せきを「読む（主に紙面）」は71.0%、「読む（主にオンライン記事）」は3.4%と、これらを合わせた『読む』は74.4%となっています。年齢別にみると、年齢が高いほど『読む』は高く、60歳代以上では80%以上を占めています。



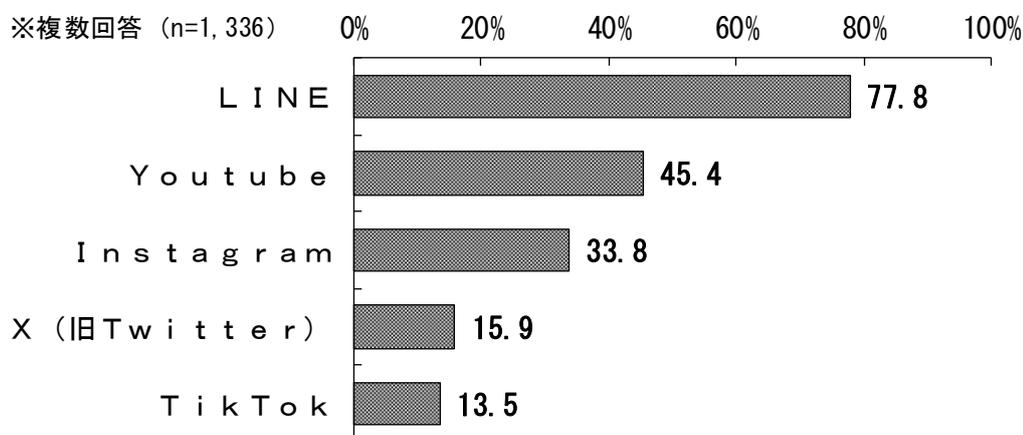
● 「あなたは、広報せき以外に何を使用して関市の情報を得ていますか」 <上位5位>

広報せき以外の関市に関する情報源については、「新聞」が38.5%と最も高く、次いで「インターネット」が31.2%、「あんしんメール」が30.9%となっています。



● 「あなたがよく使用するSNSを教えてください」 <上位5位>

よく使用するSNSについては、「LINE」が77.8%と最も高く、次いで「Youtube」が45.4%、「Instagram」が33.8%となっています。



令和7年度アンケート調査（せきのまちづくり通信簿）調査結果【結果報告書・概要版】
 発行年月：令和8年3月
 発行：関市
 編集：市長公室 企画広報課 岐阜県関市若草通3丁目1番地
 TEL 0575-22-3131（代表） FAX 0575-23-7744